

Rd.2 Chang Race Report

2023 May 13-14th

FANATEC



WORLD CHALLENGE

ASIA

POWERED BY aws

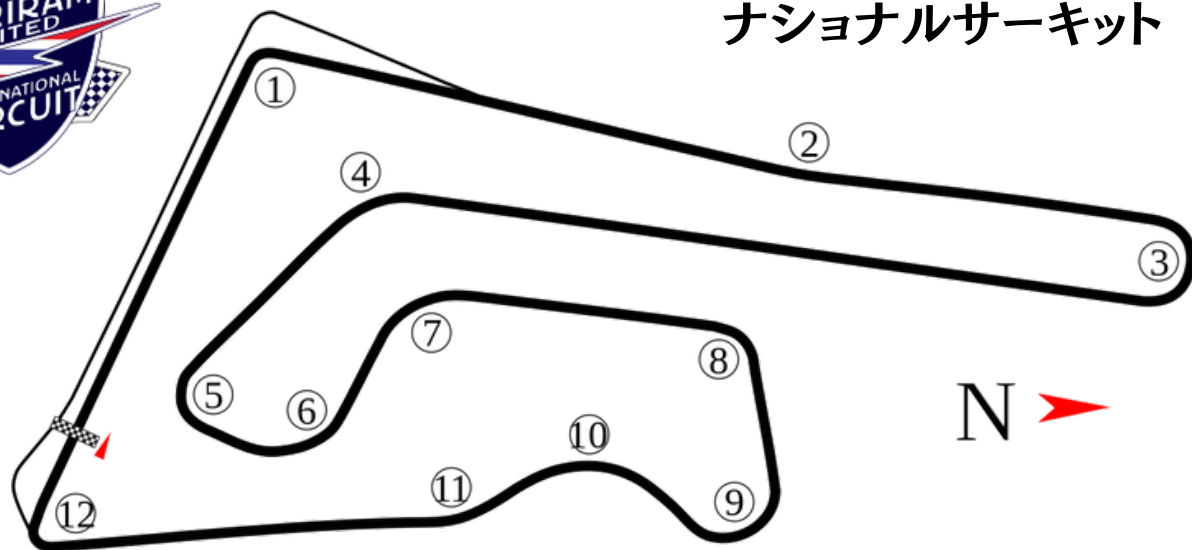


SEITA NONAKA

**TOYOTA
GAZOO
Racing**
Indonesia

Circuit

開催国 : タイ
サーキット名 : チャーンインター
ナショナルサーキット



SPONSORS

有限会社 坂下組

HIRANO TIRE

ASURA

OSUSO

CUBE
CONSTRUCTION
TOTAL SYSTEM

ピアカリーニング
Quality, Value, Ecology & Smile
コインランドリー

Final Lap

AUTISTA
RACING EQUIPMENT

air-J

LANDMASTER

K&C
KOBAYASHI
DENTAL CLINIC

AUTOBACS
東浦和店

9999

EMC インパイヤ自動車株式会社

Arai
HELMET

SEV

Tipo

NAKANE
CHIROPRACTIC

EXGEL
Motor-sports

SK MOTOR



初の海外レース 言葉の壁を乗り越え2連勝

Free Practice

DRY

今回はToyota Gazoo Racing Indonesiaの初ビッグプロジェクトとしてタイでのレースに参戦。

チームメイトのハリさんのコーチングをしつつ今後

つながるレースになるように心がけた。

日本人のエンジニアはいましたが通訳担当の人はいなかったため、基本のコミュニケーションは英語で行っていた。

英語でセットアップの相談やコーチングを行い、スコールも経験しつつ、ハリさんの乗りやすいように車両を合わせこんでいった。

Qualify

DRY / 1位

今回装着していたピレリタイヤはピークが1周しかないという特徴があったため、コースを熟知できていない部分もある中で1周をまとめ上げる必要があった。

前半20分でチームメイトのハリさんが走行。後半20分はドライバー交代し、野中が担当。まだ慣れていないサーキットのタイムアタックに苦戦しつつもクリアラップを

確実にまとめて、GT4クラスでのコースレコードを樹立しポールポジション獲得となった。



Race 1

WET then DRY / 1位

1時間のレースで、前半をハリさんが担当。後半を野中が担当。

スタート直前にスコールが来たため一度赤旗中断。全車WETにタイヤを変更しセーフティカー先導でのレーススタートとなった。

スタート後は晴れていき、徐々にドライアップしていく非常に難しいコンディション下のレースとなった。

ハリさんはミスなく周回を重ねおよそ半分でドライバー交代。その際同時にタイヤもDRYタイヤに変更。

まだ濡れている路面が残っていたためGT3車両に気を配りながら、安定したペースで走行を重ねノントラブルでトップチェッカーを飾った。

初チームで幸先の良い初優勝となった。

Race 2

DRY / 1位

RACE1 同様の1時間レースで、前半を野中が担当。後半をハリさんが担当。

2日目開催となったこの日は朝から日本人エンジニアが体調不良で不参加となってしまったため、すべてのコミュニケーションを英語で行うこととなった。路温が50℃を超える猛暑の中スタート。タイヤやブレーキをいたわる必要があり、細心の注意を払いながら周回数を重ねていった。

荒れたレース展開となり、FCYの対処なども英語でコミュニケーションとりながらなんとかこなしていき、無事野中のステイントは終了。

ハリさんに交代後もFCYが何度も出るレース展開が続き、コース上のデブリに気を付けながら走行を続けた。

最終的にはトップのまま赤旗でレース終了となった。



スポンサーの皆様へ

日本からたくさんの声援ありがとうございました。初海外レース初海外チームとなり、新鮮なことばかりでしたが無事2勝することが出来ました。

コミュニケーションや天候の違いなど勉強になることが非常に多くこの経験を日本国内でのレースに活かして生きたと思います。

次はいよいよSuperFormulaLIGTHS開幕になります。

レースが続いていますが身体もメンタルも整えて頑張ります。

